元気いっぱい！アエタコミュニティの子どもたち

Syncable を通じてご寄付をいただいた皆さまへ

日頃より温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年1月、フィリピン北部ルソン島（首都マニラのある、一番大きな島）サンバレス州にある、先住民族アエタの人々のコミュニティを訪問し、現在実施中の小学校での給食支援の進捗を確認してまいりました。

◆給食の提供について

アエタの子どもたちが通う小学校での給食支援として、私たちは今も引き続き、現地パートナー団体「プレダ基金」の施設に暮らす女の子たちが、職業訓練の一環として作った栄養価の高いパンを配布しています。今はさらに、現地の方々のアイディアで、簡単に作れる温かい食事として、お肉や野菜の入った、栄養たっぷりのおかゆも提供しています。

そして大変ありがたいことに、皆さまからの継続的なご寄付により、現在はほぼ毎日給食を提供することができています。皆様の温かいご支援に、重ねて心より感謝申し上げます。皆さまのご支援が、アエタの子どもたちの健やかな成長を支える大きな力となっています。

今回、現地を訪問したスタッフも給食配布に参加したのですが、給食配布の前には、代表の子どもたちによるダンスの披露もあり、テンションが最高潮に高まった状態での給食タイムでした。子どもたちは、今か今かと待ちきれない様子でパンやおかゆの列に並び、給食を手にした子どもたちは、友人と談笑しながら、ゆっくりおいしそうに給食を楽しんでいました。







◆子どもたちの住居や森の中の遊び場

今回の訪問では、子どもたちの住む家や、森の中の遊び場に連れて行ってもらうことができたので、その様子をご紹介します。





子どもたちの暮らす家は、ヤシの木や竹を使った伝統的な造りが多い一方で、トタンなどの金属を屋根に使う家や、コンクリートの壁にヤシの葉のような素材を組み合わせた家など、さまざまな形があります。風通しを良くするために高床式になっている家が多くみられます。





水道は一家に一つはないので、共同で使用しています。まだ水道の通っていない地域では、川の水を汲んできて生活をしているということでした。

子どもたちは森の中で、岩の上でも木の上でも、まるで足の裏に吸盤があるかのようにスルスルと登り降りしていて、その身体能力の高さに驚くばかりでした。そして、高い木に登って苦労して取ったその実を私たちにくれるなど、とってもワイルドでとっても温かい子どもたちでした。私たちがカメラを向けると、思い思いのキメポーズをしてくれました。











皆さまのご支援により、アエタの人々の生活が少しずつ豊かになり、そして子どもたちの笑顔を守ることができています。この新しい事業を支えてくださり、本当にありがとうございます。

今後もアエタの子どもたちへの給食支援を継続する他、まだ水道のない地域に水道を通し、衛生環境を整備することを考えています。どうか引き続き、皆様の温かいご支援をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【ペンパルサポーターのご案内】

アエタコミュニティを継続的に支援していただける方は、ぜひ「ペンパルサポーター」になっていただければ幸いです。ペンパルサポータープログラムは、月 3,000 円以上の継続的なご寄付で、支援するコミュニティに暮らす子どものうち１人（ペンパル）と継続的に文通ができるプログラムです。継続的なご寄付をいただけることで、私たちは長期的な計画のもと、現地で安定した支援活動を行うことができます。

お忙しい方でも気軽にお手紙を書いていただけるよう、オンラインでメッセージを送ることができる「お手紙送信用フォーム」もございますので、ぜひご活用ください。

お申し込みはこちらから：https://ftcj.org/donate/penpal/

フィリピン・アエタコミュニティ給食支援担当チーム一同